

# (5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

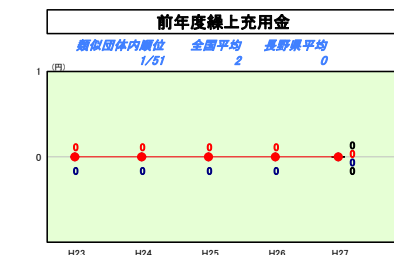
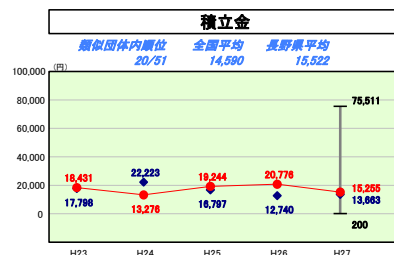
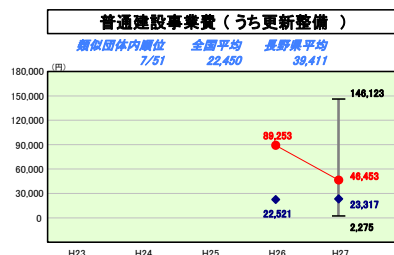
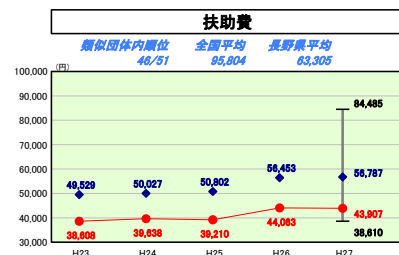
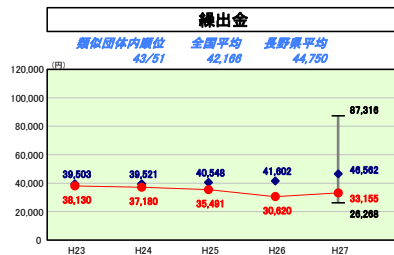
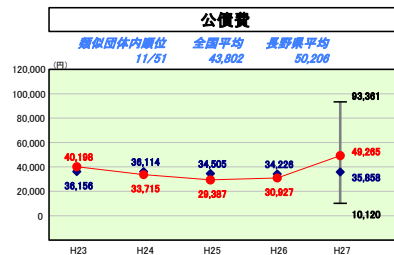
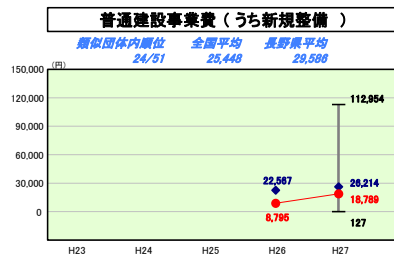
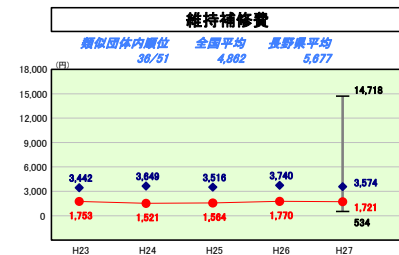
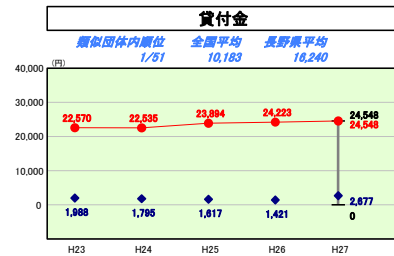
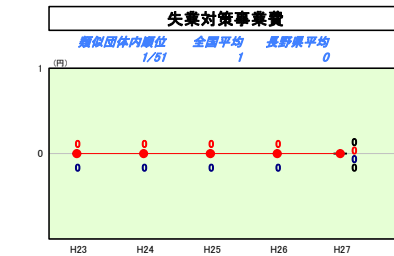
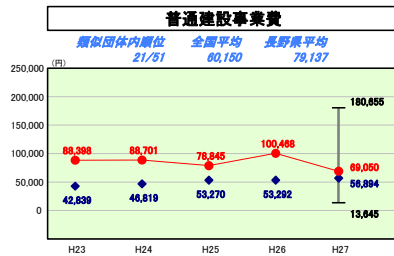
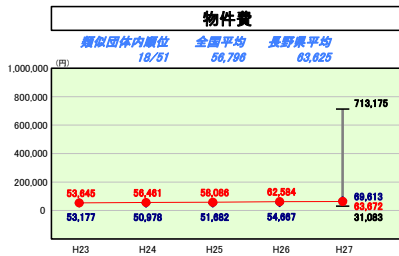
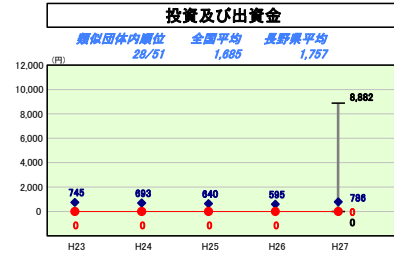
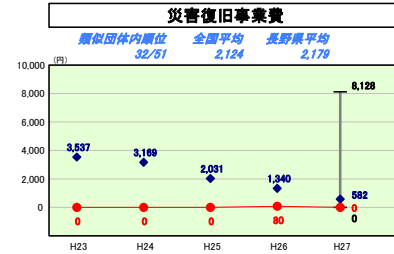
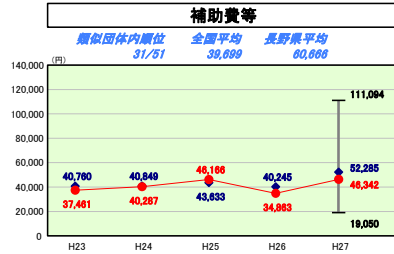
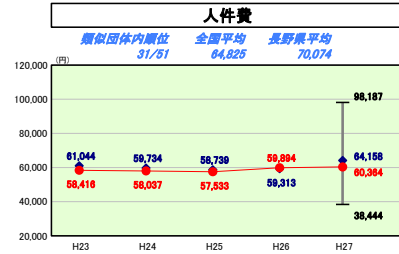
平成27年度

長野県下諏訪町

人口	20,902人(H28.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	20,634人(H28.1.1現在)	通算実質赤字比率	-%
面積	95.87k㎡	実質公債費比率	0.0%
歳入総額	8,862,287千円	将来負担比率	106.0%
歳出総額	8,512,925千円	市町村類型	H23 V-2 H24 V-2 H25 V-2
実質収支	340,500千円	(年度毎)	H26 V-2 H27 V-1
標準財政規模	4,906,226千円		
地方債現在高	9,512,707千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。  
 ※ 住民基本台帳人口については、住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度以降、調査年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載。  
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、平成27年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 性質別歳出の分析

人件費、物件費、維持補修費、扶助費、補助費、繰出金については、いずれの項目においても類似団体平均、長野県平均、全国平均を下回っており、引き続き適切な経費削減に努めている。  
 貸付金については、勤労者の生活安定や中小企業等の円滑な資金調達のための各種融資制度を充実させているためだと思われる。  
 普通建設事業費については、安心・安全のまちづくりの一環として、H23年以降、大規模な地震災害等に備え県下でも数少ないと思われる大型輸送ヘリコプター対応のヘリポート等多くの機能を完備した赤砂崎公園整備事業や、児童生徒の安心安全な教育環境を確保するため、現行の建築基準法の耐震基準に満たない老朽化した小学校の改築事業、災害発生時の復旧・復興の中核となる庁舎の耐震改修事業といった大型投資の事業を実施してきており、これまで類似団体平均、全国平均、長野県平均と比べて高い水準を維持してきた。H27年度においては、南小学校改築事業の終了に伴い対前年度比31,418円の減となったことで、類似団体平均とほぼ同水準となっている。  
 公債費については、類似団体平均を13,407円、全国平均を5,463円上回っている。これは、前述のH23年度から始まった大型投資の事業の元金償還が始まることに伴うもので、27年度以降は公債費が徐々に増えていく見込みである。